平成21年度第2回福岡県森林環境税事業評価委員会 議事録

日時:平成22年3月26日(金)14:00~16:00

場所:福岡県吉塚合同庁舎 特6会議室

1 開会

[司会]

(新委員の紹介)

- ・ 矢幡 久 委員

(配付資料の確認)

- ・ 資料1 平成21年度森林環境税による事業の実施状況について
- ・ 資料2 平成22年度森林づくり活動公募事業応募状況

2 農林水産部次長挨拶

[農林水産部次長]

本県では、平成20年度から森林環境税を活用し、「荒廃した森林の再生」と「県民参加の森林づくりの推進」に取り組んでいます。

「荒廃した森林の再生」では、市町村が事業主体となり、間伐や広葉樹の植栽のほか、作業路の開設などを行い、「県民参加の森林づくりの推進」では、昨年3月の当委員会での審査を経て、採択した42件の森林づくり活動が行われたところです。今後とも、このような取り組みを一層推進し、森林の再生に努めて参りたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、それぞれ専門的な立場から、忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

3 委員長選出

[司会]

堺前委員長のご逝去に伴い空席となっております委員長を選出していただきたいと思えます。

なお、委員長は当委員会設置要綱第5条の規定に基づき、委員の互選によって選出することとなっております。いかがいたしましょうか。

[委員]

矢幡先生にお願いできたらと思います。現在も西日本短期大学の教授もなさっておりますし、九大の名誉教授でもあられますので是非お願いしたいと思います。

[司会]

矢幡委員を推薦する案が示されましたがいかがでしょうか。

[委員一同]

異議ありません。

[司会]

それでは、皆様からご了承いただきましたので、矢幡委員、お引き受けいただけますでしょうか。

[矢幡委員]

はい。よろしくお願いいたします。

[司会]

それでは、矢幡委員に委員長をお願いいたします。

[委員長]

只今、委員長を仰せつかりました矢幡でございます。議事が円滑に進みますよう、皆様方のご協力をお願いします。

4 平成 21 年度森林環境税による事業の実施状況の報告

[委員長]

それでは、平成 21 年度森林環境税による事業の実施状況について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

(資料 1、平成 21 年度森林環境税による事業の実施状況の説明)

[委員長]

ただいまの事務局の説明に対して、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

[委員]

(意見なし。)

[委員長]

それでは平成 21 年度森林環境税による事業の実施状況については、これで終了したいと思います。

5 平成 22 年度森林づくり活動公募事業の企画書の審査

[委員長]

これより、平成 22 年度森林づくり活動公募事業の企画書の審査に入ります。
まず、応募状況と審査の手順について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

それでは、まず応募状況について説明します。
募集につきましては、平成 21 年 12 月 21 日から約 2 ヶ月間募集を行いました。

その結果、58件の応募がございました。

活動項目別では、「森林の整備・保全」活動が27件、「里山の保全」活動が12件、「森林環境教育」活動が15件、シンポジウムなどの「その他」活動が4件となっております。

なお、一つの企画書に複数の活動がある場合は、その主たる活動に集約しております。

次に、審査の手順について説明します。

委員の皆様には、事前に審査を行っていただいております。

本日は、委員の皆様からいただいた事前審査資料をもとに、ご審議いただき、その審議の内容を踏まえまして、各委員には最終の審査結果をご記入いただきます。

その後、皆様の審査結果をとりまとめ、評価委員会として県に推薦する企画を決定していただきます。

ご審議のほど宜しくお願いします。

[委員長]

それでは審査に入ります。委員の皆さんの幅広い意見を伺いたいと思います。

[委員]

今回は、どこの団体も参加人数が多かったように思いました。

[委員]

企画書の中で、活動が1回のみで終わるものと、複数回実施されるものがあります。年間を通じて、複数回活動することは良いことではないかと思いました。

[委員]

予算の中で、自己資金を計画しているものとそうでないものがありました。自己資金について、県の考え方をお聞きしたいと思います。

[事務局]

本来、活動に必要な最低限の資金は、各団体で手当をしていただくことが望ましいと考えますが、応募される団体の中には、設立間もない団体も多くおられます。

このため、多くの団体がこの事業に取り組むことで、自己資金を確保できるような団体に自立していただくための動機付けとしても、この事業を活用していただきたいと考えております。

[委員]

書類審査で採択された後、実際に団体の活動がどのようになされているのか、気になりました。

[委員長]

実際の事業実施の内容や適正な支払いについて、どのような確認をされているのか、県に

お聞きしたいと思います。

[事務局]

事業実施の際に、県農林事務所で現地確認を行うようにしております。団体からは、事業実施後、支払いを証明する領収書や活動写真を添付した上で、実績報告書を提出していただきます。

県は、実績報告書に基づき、内容の審査を行い、補助対象と認められる経費について、精算して補助することとしております。

[委員]

昨年も応募された団体で、同じような物品を再度購入できるのかどうかについて、県にお聞きしたいと思います。

[事務局]

これまでも団体の財産となりうる備品や機材の購入は認めておりませんでした。これに加え、今回の募集から、消耗品の購入につきましても、過去に、この事業でナタやカマなど継続使用が可能な物品を購入した場合には、原則として、不足する分しか購入できない旨を募集要領に明記し、制限をさせていただいております。

[委員長]

これまでの議論を考慮して、委員の皆さんは最終の審査結果を記入してください。

[事務局]

(回収した審査表をとりまとめて、提示)

[委員長]

それでは、この審査結果をもって県に推薦したいと思います。よろしいでしょうか。

[委員一同]

異議なし

[委員長]

それでは、このとおり県に推薦したいと思います。

今後の事業採択について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

県では、評価委員会からの推薦を受けて、予算の範囲内で採択事業を決定します。

なお、採択結果につきましては全ての応募者に通知するとともに、決定した採択事業につきましては、県のホームページを通じて公表いたします。

[委員長]

それでは、森林づくり活動公募事業の審査をこれで終了いたします。

6 閉会

[委員長]

これをもちまして、平成 21 年度の第 2 回森林環境税事業評価委員会を終了させていただきます。

[森林保全課長]

県では、当委員会での審査の結果を踏まえ、速やかに採択する森林づくり活動を決定することとしております。

この事業を実施することで、県民の皆さんが「森林の整備」や「里山の保全」など様々な森林づくり活動に積極的に参加され、森林を県民共有の財産として社会全体で守り育てる気運の向上が図られるものと考えております。

本日は、誠にありがとうございました。